

尊攘派の五卿が滞在

関心集める太宰府「延壽王院」

明治維新の歴史を秘める



報 館

発行 社団法人 玄洋社記念館
郵便番号 810-0073
福岡市中央区舞鶴二丁目4番24号
電話 (092) 771-3203
F A X (092) 771-1326

参拝客で埋まる参道。突き当たりが「延壽王院」



学問の神様・菅原道真公を祭る福岡県太宰府市の太宰府天満宮(西高辻信良宮司)は、この春も初詣に始まり受験合格祈願や観梅など大勢の参拝客でにぎわった。天満宮の境内には、朝廷の政変で京都を逃れた三条実美ら尊皇攘夷派の五人の公卿が滞在した「延壽王院」がある。参拝客の中には、門前の説明板を目にして、日本の黎明をもたらした幕末動乱期の主役たちに、改めて関心を向ける人も少なくなかった。

玄洋社憲則

- 第一条 皇室ヲ敬戴ス可シ
- 第二条 本國ヲ愛重ス可シ
- 第三条 人民ノ権利ヲ固守ス可シ

今号の主な内容

- ▽「来館者の声」特集 Ⅱ 2面
- ▽連載・進藤喜平太の思い出 Ⅱ 2面
- ▽頭山翁のボース支援がテレビ番組に Ⅱ 3面
- ▽連載「玄洋社関係史料の紹介」 Ⅱ 4面



「延壽王院」の門と、門前でガイドの説明を聞く参拝客

門前に立ち、説明板を読ん で由来を知ると、改めて堀の内側の邸を興味深げに眺める姿も目立つ。門の向かって左手には、雨の中、蓑笠姿に提灯を提げて都落ちする三条卿らの姿を浮き彫りにした石碑がある。邸内の母屋の前の中庭には、昭和十六年建立の金子堅太郎

維新の策源地に

撰、西高辻信稚(当時の宮司)書の「五卿遺蹟」の碑が建っている。

国論が勤皇、佐幕に二分され混迷を極めていた文久三年(一八六三)八月、朝廷は佐幕派のクーデターで急進派が敗れ、三条卿ら尊



中庭の「五卿遺蹟」の碑

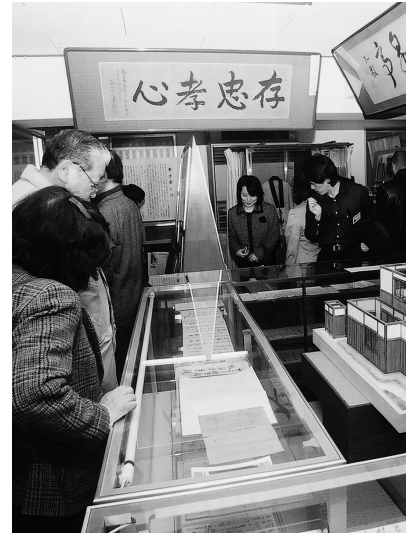
攘派の七卿は再興を期して一旦、長州に退いた。しかし、その長州藩は、形勢挽回のため翌、元治元年(一八六四)七月十九日、会津薩摩藩と交戦した「禁門の変」で敗退。幕府による第一次長州征伐で抗戦せずに降伏した。

幕府は降伏の条件の一つに、そのとき長州にいた三条卿と三条西季知、東久世通禧、壬生基修、四条隆謨の五卿の他藩への移動を挙げて、曲折を経て太宰府に転座した。五卿は慶応元年(一八六五)二月十三日から復位する同三年十二月まで、二年十九月「延壽王院」に滞在した。

この間、西郷隆盛、高杉晋作、坂本龍馬ら勤皇の志士が頻繁に訪れ、太宰府は明治維新の策源地となった。

盛大だった70周年祭

昭和十年三月十七日、太宰府では「五卿西竄(ざん) 逃れること」七十年記念祭」が町をあげて挙行された。「延壽王院 中庭の「五卿遺蹟」の碑は、その折り返しが発案されたという。天満宮宝物館には、蓑笠、刀剣はじめ五卿の遺品が保存されている。常設展示のほか、適宜、企画展も開催される。見学者は多いそう。



熱心に展示品に見入る来館者

貴重な史料とお話で勉強になりました。また福岡に参りますが、時間があればうかがいます。(東京都・29歳・俳優・男性)

以前にも一度、お邪魔したことがあり、そのときにも館報をたくさん持ち帰らせていただきました。展示されているものも大変興味深く、楽しませていただきました。

また、ぜひ訪問したいです。(山口県宇部市・24歳・事務・女性)

私たちが今、平和な日本に暮らせるのは誰のおかげか、と痛感いたします。

私一人の日本人、教員として微力ながら国を愛する立派な日本人を育てていきたいと思えます。(福岡県久留米市・31歳・教員・女性)

歴史についても大変貴重な資料を拝見でき、ありがとうございました。新聞の連載などで玄洋社

の平和のために利他に徹し生き抜いた先人の魂を、自分の中にわずかでも見出したいと思えます。(山梨県都留市・35歳・会社員・男性)

来館者の声

玄洋社記念館に来館された方々の感想文の一部です。要約して掲載しています。

フリーター・男性

歴史について知らないことがとても多くて、もともとがとでも多く、もともと本を読まねばと反省しました。

近所なので、また寄せられていただきます。次回ももっと勉強しておきます。(福岡市・28歳・モデル・女性)

先人の生き様を思うとき、私も何かを為すべきであり、社会のために行動するときにその思いを強くしました。(福岡市・54歳・会社員・男性)

なにか。先人たちのされたことを改めて見つめ直し、今後、どのように、それを継承していくかを問われていますか。私一人の日本人、教員として微力ながら国を愛する立派な日本人を育てていきたいと思えます。(福岡県久留米市・31歳・教員・女性)

歴史についても大変貴重な資料を拝見でき、ありがとうございました。新聞の連載などで玄洋社

の平和のために利他に徹し生き抜いた先人の魂を、自分の中にわずかでも見出したいと思えます。(山梨県都留市・35歳・会社員・男性)

フリーター・男性

歴史について知らないことがとても多くて、もともとがとでも多く、もともと本を読まねばと反省しました。

近所なので、また寄せられていただきます。次回ももっと勉強しておきます。(福岡市・28歳・モデル・女性)

先人の生き様を思うとき、私も何かを為すべきであり、社会のために行動するときにその思いを強くしました。(福岡市・54歳・会社員・男性)

なにか。先人たちのされたことを改めて見つめ直し、今後、どのように、それを継承していくかを問われていますか。私一人の日本人、教員として微力ながら国を愛する立派な日本人を育てていきたいと思えます。(福岡県久留米市・31歳・教員・女性)

歴史についても大変貴重な資料を拝見でき、ありがとうございました。新聞の連載などで玄洋社

の平和のために利他に徹し生き抜いた先人の魂を、自分の中にわずかでも見出したいと思えます。(山梨県都留市・35歳・会社員・男性)

フリーター・男性

歴史について知らないことがとても多くて、もともとがとでも多く、もともと本を読まねばと反省しました。

近所なので、また寄せられていただきます。次回ももっと勉強しておきます。(福岡市・28歳・モデル・女性)

先人の生き様を思うとき、私も何かを為すべきであり、社会のために行動するときにその思いを強くしました。(福岡市・54歳・会社員・男性)

なにか。先人たちのされたことを改めて見つめ直し、今後、どのように、それを継承していくかを問われていますか。私一人の日本人、教員として微力ながら国を愛する立派な日本人を育てていきたいと思えます。(福岡県久留米市・31歳・教員・女性)

歴史についても大変貴重な資料を拝見でき、ありがとうございました。新聞の連載などで玄洋社

の平和のために利他に徹し生き抜いた先人の魂を、自分の中にわずかでも見出したいと思えます。(山梨県都留市・35歳・会社員・男性)

フリーター・男性

歴史について知らないことがとても多くて、もともとがとでも多く、もともと本を読まねばと反省しました。

近所なので、また寄せられていただきます。次回ももっと勉強しておきます。(福岡市・28歳・モデル・女性)

先人の生き様を思うとき、私も何かを為すべきであり、社会のために行動するときにその思いを強くしました。(福岡市・54歳・会社員・男性)

進藤喜平太の思い出・第2部 「追悼録」から

進藤喜平太翁 中野 正剛

(前号から)

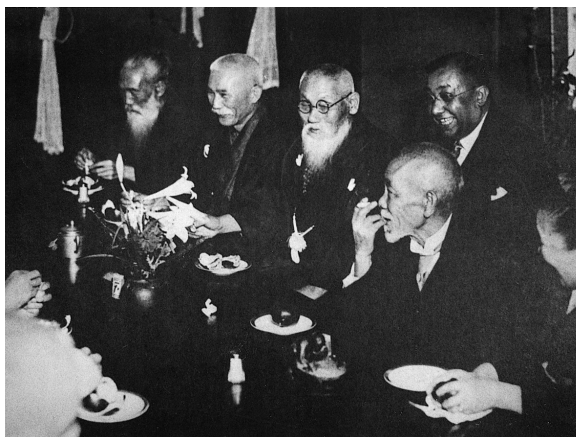
進藤先生を仰ぎて七十六歳の高齢に至るまで、玄洋社の任務を全うせしめし人に喜多島淳君あり。常に曰く。余今日に至るまで先生を奉じて手足の勞に服す。長年月の間未だ一度も進藤先生が自己を語りしを聞かず。先生の誠実、先生の友情、先生の豪膽、皆な其の経歴の久しきに及びて、自ら他より之を推賞せしのみ。先生は實に自己の功名を説かざるのみならず、自己の貧をすら説かざるなり。是れ豈に尋常人の企及し得る所ならんやと。若し事功を擧げて先生の英名を飾らんか。慷慨激發せし玄洋社の活映畫は、一として進藤先生を登場の主要人物とせざるはなし。然れども玄洋社の壯圖を擧げて、如何に之を宣揚するも、一個進藤の純人格に對して、毫も其の眞価を増減するの料となすに足らず。進藤の人格は遙かに塵寰より飄逸して、區々たる世の功名に超越せり。若し進藤先生にして中原の主潮に棹さしめんか。亜細亞の風雲に嘯かしめんか。其の事功は漸くにして、先生の人格に追隨するを得べきなり。筆者の進藤先生を語るや、世人往々にして之が匹儔を擧げて、比較対照せんとす。曰く杉浦天台道士に比せば如何。曰く某々名士に比せば如何と。進藤先生は此等の諸名士と全く趣を異にす。先生には謹直と云ひ、廉潔と云ひ、篤實と云ふが如き、彫琢の痕跡を留めず、平々淡淡として眞に水の如し。善事は黙して己一人之を躬行す。嘗て人を勧誘せず、又人の之を行はざるを責めざるなり。

(続く)

頭山翁のボース支援 地元テレビが番組に

「国外退去」からの救出など

福岡のテレビ西日本は、リー100年の夢―R・B・昨年十二月十日(十一日午 前零時十五分)と今年二月 十四日の二度「インドカ



ボース氏追及の手はその後、緩まる。ボース氏は年に一度、当時の支援者を招いて謝恩の会を開いた。写真は昭和7年の会。中央の眼鏡の人が頭山翁、その右は犬養毅翁、左は内田良平氏、後ろがボース氏=玄洋社記念館所蔵

ス・ビハリ・ボースの活動を軸に、玄洋社の手厚い支援や東京の新宿中村屋に、同店の看板商品になってい

爆殺未遂事件で大正四年六月、日本に逃亡。孫文を介して頭山満翁と法学者、寺尾亭を知る。

玄洋社の支援の圧巻は、日本政府の国外退去命令を受け窮地に立たされたボースの、頭山翁はじめ玄洋社の面々による救出作戦だ。

ボースは同年十一月二十八日に、五日間の期限で国外退去命令を受ける。

そこで頭山翁の「非常手段に依り神隠しそのままの大腹芸」(藤本尚則編著「頭山満翁寫真傳」より)が演じられる。

十二月一日の夜、東京・靈南坂の寺尾邸でボースの送別会が開かれる。表には監視の警察官が待機している。

宴会が終わってボースは寺尾邸隣の頭山邸に挨拶に行く。そこで外套を着て変装し台所から路地に抜け出して、杉山茂丸(玄洋社員)が用意した外車で走り去った。ボースは、新宿中村屋の経営者、相馬愛蔵家

に保護される。番組は、インドロケも実施。頭山翁の胆力と頭山翁をはじめ玄洋社の人々のアジア諸国の独立に懸ける熱意を描き出していた。

平成19年度

会費納入のお願い

玄洋社記念館賛助会員

の皆様にはご健勝で過ごしのこととお喜び申し上げます。また、当記念館の活動への日頃からのご理解と協力に、心からお礼申し上げます。

さて、四月の新年度を迎えるにあたり、当記念館は平成十九年度分の賛助会費の受け付けを同月一日から始めさせていただきます。法人会員の皆様、個人会員の皆様、共に厳しい経済環境の中で、誠に恐縮ではありますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

賛助会費の受け付け要領は次のとおりです。

【賛助会費の額】
▽個人会員Ⅱ 一口二万円
▽法人・団体会員Ⅱ 一口三万円

納入は郵便振込または銀行振込でお願い致します。振込先は次のとおり

【郵便振込】 口座番号 017701120738

【銀行振込】 西日本シティ銀行赤坂門支店 普通預金 口座番号0740047

宛名は「玄洋社記念館」です。

当記念館には、昨年度も多数の見学者がいましたが、若い見学者が増えたこと、遠方からの見学者が増えたことが特徴としてあげられます。

代は十代から四十代、地域では東北、関東、関西などからでした。こうした状況に因應すべく、当記念館といたしましても、さらに活動の活発化に努力する所存です。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(財)日本医療機能評価機構認定

開放型病院・臨床研修指定病院

特定医療法人

原土井病院

理事長 原 寛

〒813-8588 福岡市東区青葉6丁目40番8号
☎092-691-3881(代)
http://www.haradoi-hospital.com/



本社 〒813-0265 福岡市東区青葉一丁目六七一五三
TEL:092-9169110(六七八)
FAX:092-9169114(四五五四)
Email: info@shouten.co.jp

造園・緑化 自然とコミュニケーション

株式会社 別府梢風園

代表取締役社長 別府 壽信

AKIRA Oh. Fresh! Sea foods.



代表取締役社長 安部 泰宏
本 社 福岡市中央区長浜3丁目11-1311
電話092-71116600(代表)
関連会社/株式会社コウトク水産

創業文化五年(一八〇八年)

合資会社 米長商店

富永信太郎

味噌・醤油

〒819-0373 福岡市西区周船寺三丁目一一番六四号
電話(092)8061016
FAX(092)8061017

建設コンサルタンツ
建設事業の計画・調査・測量・設計・施工管理
ジーアンドエス・エンジニアリング株式会社
代表取締役 花田 三郎 勲
代表取締役 長尾 三郎 勲
代表取締役 尾 三郎 勲

福岡鮮魚市場のコア企業!! 21世紀の水産業界を領導するアキラグループ
◆鮮魚卸業◆
株式会社 アキラ水産
代表取締役社長 安部 泰宏

玄洋社関係史料の紹介

石瀧 豊美

第 40 回

宇田川文海『西南拾遺』(十)

(早稲田大学図書館所蔵)

明治十二年九月刊行

小室信介

宇田川文海編輯

『西南拾遺』卷之三

新土色に溺れて石束に懲めざる。松江書を留めて新士を感じしむ。(続き)

「又むかしある男、その妻に志うすらぎ、めづらしき女をよびいれてあさからず契りけり。此妻いさ、めも心にかけず、うらみたるけはひもなく、日数ふるま、に、秋の夜の長きに寝もねられず、ひとり灯火か、げてうちかたふき居りけるに、鹿の音かすかに聞えければ、

我も鹿なきてぞ人に恋ぐれし今こそよと声はきけども
と声しのばして咏じける

りとこそ説き玉ひたれ。されば我身の今夫に従はで、いづくへかゆくべき。又婦人に七去の戒あり。物妬みして去られなば、いかにばかりか悲しからん。仏も女人は罪深かして種々の教を世に伝へ玉ふ。中に外面如菩薩、内心如夜叉などいひて、女の腹あしきを戒め玉ひぬ。されば今はしたなき心を出して、夫にかにかく云ひ争はば、大倭もろこし、或は西の国の仏たちの御教にも一々悖りていと罪深き身の上とやなり候はん。

凡人間の事は愛別離苦、怨憎会苦、四苦八苦など仏のいひ玉ひし理もあれば、妾がかく此家に来てより一度も夫にやさしき言の葉を得聞かず、温かなる飯さへ喉に入らざる程の憂きも常業としつ。

あきらむれば左まで難たきことは候ふまじ。火に入らば入れ、水に沈まば沈め、妾は夫を天とし事へて顧みる心はあらず。今妾死なば誰かは妾の心を知らん。五月雨の涙に湿る独寝の夜半に、血を吐きて啼くとぞ聞ゆる、あしびきの山杜鵑にうち明けて頼まばや」

なんどかいしるして、猶

其奥にしかじかとあはれなる意許多かいつけあれば、新士はくりかへしつ、涙にくれて読み了り、扱はこの文こそ我が去年の春の末より博多の町にゐびたりて、半年余りも帰り来ざりしかば、其間のつれづれにかく物したる文成らん。去りてもかゝる心ばへの女をつれなくせしこそ、いと涙に沈みけり。

新士、名を震志と改む。奥平謙輔、震志に面会す。

十八公の栄は霜の後に露の色まさりて見えければ、

れ、一千年の色は雪の中に深かしかや。常盤なる松の緑を名にし負ふ松江の文の、おのづからかたき操のあらはれて、いとあはれにぞ見えにける。新士も、曩に石束の為にいたく懲されてより後は、松江の操を知るものから、いかで呼びもどして友白髪、あひおいの契りを千代かけて契らむものをと、おもふをりふしかく真心うつせし文の目のあたりあらはれしにぞ。

猶更いとをしむ心出来て、さらぬだに緑の松も春来しごとく、いまひとしほ益々前日の非なるを悟り、この上は一入の勉強もて、従来流せし浮名をも雪がんとおもひ立ち、今より諸県を巡歴して有志の族と懇信を結び、他日国家に大事あるの日は、諸人に先き立ちて報国の実績を顕はし、祖先父母の家をも興し、名をも拳んと志し、名さへ震志と改めて、聊かの家財をも売代なし、親族一門の者には、商法見習の為、浪花にゆくよし、云ひおきて、さして行手は不知火の筑紫を跡に、鳥がなく東の空へと立出けり。是明治五年秋八月の末なりける。



新士は太宰府を出立し内野(嘉麻市)、飯塚(飯塚市)を抜け小倉(北九州市)へ向かった。写真は飯塚市の旧長崎街道

る。むかし漢の代の司馬相如は、志を立て郷関を出る時、郷里の橋に字を題して、駟馬の車(四頭立ての馬車)に乗らずんば、再び此橋を過ぎらじと誓ひしこともあればとて、太宰府の天満宮の祠前に至り、合掌して誓ふらく。

僕、平素の大望を遂げんが為、今日此国を去て東方に赴かんとす。然るに遊歴の間、天下の名士に邂逅し、共に天下の大事を約することあらずんば、誓て又此祠前を過らず。若し此誓を偷ゆるごとくんば、冥罰立に至り、天雷五體を打裂せん。

帰命頂礼天満大自在威徳天神と幾度となく唱へつゝ、やをら太宰府を立出で、博多の町も後に見つ。内野、飯塚打過ぎて、小倉の浜より一帯の瀬戸うち越えて、うみをなす長門のうらなる赤間が関より左に折れて十余り三、四里もあゆみて、萩城の旅宿に暫時疲を休め、曾て有志の聞え高き前原一誠の許にゆきて、己が宿意をうち明けて、天下の事を語らひつゝ、三四日も逗留しつ。

(続く)